



# 1631名が新たなステージへ

## 特集 3キャンバス それぞれの門出



卒業生にはなむけの言葉を贈る清水高等部校長



式辞と共に想いを語る水上中高一貫部校長

春は別れと新しい門出の季節。文京学院でも、幼稚園の修了証書授与式、中学・高校の卒業証書授与式、大学院の修了証書授与式、生涯力レッジの修了式が順次執り行われました。平成29年度は、3キャンバス全体で1631名が新たなステップを踏み出しました。

写真提供：スタジオ・トナミ

## 3月17日「ふじみ野幼稚園」



小栗園長のお話をきちんと聞く修了児

# 大学

## 本学学生が大活躍

99名の修了児が、来賓として元

小栗園長の挨拶、来賓として元

祝電紹介、後援会会長挨拶

同「またね」を合唱して元

もきちんと聞くことができ

に退場しました。

かの大きな声で自分の名

前を言い、ホール中央の台

の上へ。小栗園長から

「おめでとう」の言葉と共に

大きな声で自分の名

前を言い、ホール中央の台

の上へ。小栗園長から



入賞者と関係者 同

第56回「中学暗唱コンテスト」が2月13日、駒込キャンパス・ジャシーホールで行われました。司会は、3年生の金子桃菜さん（桃）、齊藤のかさん（栗）、辰野加奈さん（同）。

まず、田中寿一教諭から、同コンテスト全校1位の生徒に授与される「国友賞」の説明があり、続いて第36期生徒会長の菅沼美音さん（3菊）が開会の辞を述べました。水上茂中高一貫部校長の挨拶後、審査員として、伊藤久美子教諭、Ms. Ezra Liu、Mr. Jason Somervilleが紹介され、コンテストがスタート。

【中1】★1位＝草野那月（菊）★2位＝福岡万奈（同）★3位＝早川結菜（同）  
【国友賞】（全校1位）＝常

生8名が、暗唱した英文を披露し、英語力を競いました。審査員による厳正なる審査の結果、次の生徒が入賞し、会場から大きな拍手が贈られました。

【中2】★1位＝常岡舞秋（菊）★2位＝鈴木凜優（栗）★3位＝大久保結衣（同）  
【中3】★1位＝草野那月（菊）★2位＝福岡万奈（同）★3位＝勝山ここ（同）  
【国友賞】（全校1位）＝常

表彰式では、水上中高一貫部校長が入賞者の健闘を称え、賞状と盾を授与。最後に、第37期中学生徒会副会長の高橋蘭さん（1桃）が閉会の辞を述べました。日本文化センターでは、同コンテストでは、審査員による審査の他、中1～2生も審査に参加。審査員の結果とびついた一致した生徒には「ピタリ賞」が贈られます。今年は、1年生4名、2年生18名が該当し、「英語を聴く力」が備わっていることを証明しました。

【3月13・14日】初日、韓国での川空港経由でカザフスタンのアルマティ空港に到着。翌日、カザフ国立大学へ。交流会での自己紹介で、本学学生は「最近の日本事情、私の夢」などについても活発に発言し、意見交換を行いました。その後、現地の学生と共にアルマティ市内観光に出

掛、バザール、第二次世界大戦時に亡くなった戦士を追悼する国立公園「28人のパンノイロフ戦士公園」、「MEGA park」を訪問。カザフスタンの経済を肌で感じました。

【3月15日】カザフスタン東部に位置し、ユネスコの世界遺産に文化遺産として登録されている「タムガリ遺跡」を訪問。岩絵を始め、生贋の儀式が行われた祭祀跡や墓所などの遺跡を回り、中央アジアの古い歴史と遊牧民が生活する大自然を感じました。

【3月16日】ウズベキスタン共和国、カザフスタン共和国を訪問。それに先駆けて2月5日、島田輝子学園長、島田昌和理事長、工藤秀機学長はじめ関係者による「海外派遣学生結団式」が開かれ、派遣団に大きなトルが贈られました。

以下、派遣先によるレポート抜粋です。

その後、現地学生と日本から留学している学生も加わり、国立中央博物館と日本文化センターを訪問。博物館では、古代のカザフスタンについての展示を見学。同国が国交を結んでいる国々のアースで日本を確認しました。

日本文化センターでは、現地の方々が伝統的な踊りや歌を披露。学生側は、名前を漢字で書くクリエーションを行い大好評でした。

【3月19日】ウズベキスタン世界言語大学を訪れ、学生たちと交流。本学学生は、パワーポイントによる出来事をプレゼンしましたが、それを聞く先方の学生の日本語理解力の高さに驚きました。先方は、日本語弁論大会で最優秀賞を獲得した学生による感動的なスピーチを実施。

その後、自己紹介、漢字を使つたクリエーション、お菓子パーティなどで交流を深めました。

【3月21日】「ウズベキスタン国立歴史博物館」を訪れ、古代から近代の発展過程を改めて確認。その後、同国に滞留していた80名以上の日本人を祀る日本墓地を訪れ、現在、友好関係にある両国の絆がさらに深まる」と願いました。

掛け、バザール、第二次世界大戦時に亡くなった戦士を追悼する国立公園「28人のパンノイロフ戦士公園」、「MEGA park」を訪問。カザフスタンの経済を肌で感じました。

その後、現地学生と日本から留学している学生も加わり、国立中央博物館と日本文化センターを訪問。博物館では、古代のカザフスタンについての展示を見学。同国が国交を結んでいる国々のアースで日本を確認しました。

【3月22日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月23日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月24日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月25日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月26日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月27日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月28日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月29日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月30日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月31日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月32日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月33日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月34日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月35日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月36日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月37日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月38日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月39日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月40日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月41日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月42日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月43日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月44日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月45日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月46日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月47日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月48日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、このプロ grammは、まだ歩みを止めてはいけません。日本と中央アジアが繋がると、私たちがその最前線に立てるところを切に願っています」

【3月49日】「ナヴォイ劇場」で

美しい「レギスタン広場」

郷土料理「アロフ」を作り、皆で楽しみました。

【3月50日】成田へ到着。出発前の結団式で代表挨拶を述べた浦田雅也さん（外國語学部2年）は、次のように想いを記しています。

「かつて日本は、今回の訪問の影響を受けながら私たちの文化を作り上げてきました。このことを同プログラムで4月から学んできましたが、私たちは訪問国から学ぶべきことがたくさん残っています。日本と中央アジアの国々を繋ぐことで、たとえば、私たちの利益のためだけではなく、私たちの精神的なあり方を考えることにも繋がるはずです。今回渡航したメンバーだけではなく、沢山の方々の協力によって、